

令和3年度第22回創造アイデアロボットコンテスト長崎県中学生大会実施要項

2021.10.24 改訂

1 目的

- 中学校技術・家庭科で学習した知識や経験を生かし、ロボットの設計・製作を行い、その成果の発表を通して知識や技術の向上を図るとともに、各学校間の交流を深める。

2 スタイル

- 創造アイデアロボットコンテストは、生徒の工夫創造の育成を図る絶好の機会ととらえ、ロボット製作に関しては、生徒自らの問題解決学習になりうるようにする。生徒自身が取り組み、生徒が解決していくよう教師は支援する。
- コンテストは一つの授業の場として、参加者が互いの工夫点や機能性、構造等を学びあえるようにし、また、ものづくりに取り組んできた仲間の交流の場としてとらえる。

3 名称 「令和3年度第22回創造アイデアロボットコンテスト長崎県中学生大会」

4 主催 長崎県中学校技術・家庭科教育研究会

5 共催 長崎県中学校文化連盟

6 後援 長崎県教育委員会、波佐見町教育委員会 長崎県産業教育振興会、長崎大学教育学部

7 協賛 東京書籍、開隆堂、教倫堂、学友社、フクダ、森教材社

8 主管 長崎県中学校技術・家庭科教育研究会 県央地区

9 日時 令和3年11月7日（日）

10 会場 波佐見町立波佐見中学校（リモートの場合は川棚町立川棚中学校）

11 組織

大会顧問	長崎県技術・家庭科教育研究会顧問
大会会長	柳原 秀一（長崎県中学校技術・家庭科教育研究会 会長）
運営委員長	楠本 洋一（波佐見町立波佐見中学校）
県事務局長	本村 孝之（長崎県中学校技術・家庭科教育研究会 事務局）
運営事務局長	小峰 義春（川棚町立川棚中学校）
運営副事務局長	江口 浩久（島原市立第三中学校）
監査	杉本 秀樹（大村市立郡中学校）
運営委員	各地区より代表1名以上

12 参加チーム

- (1) 長崎県内の中学校に在籍し、学校単位での参加とする。

13 予算および諸経費

- (1) 運営に関わる費用は県研究会、大会参加料（1チーム900円）および助成金によってまかなう。
- (2) 大会運営費の内訳〔コート・アイテム等材料、賞状、顕彰費、印刷、郵送、看板、会議 等〕
- (3) 各地区からの参加に関わる経費は、学校・個人が負担する。旅行傷害保険をかけておくことを勧める。

14 ロボコンの基礎共通ルール

- (1) 部門は基礎、計測・制御、応用・発展、動画作品、九州オリジナルの5部門とする。
- (2) 操縦は有線リモコン方式とする。ただし動画作品部門は自由。
- (3) チーム名は公序良俗を厳守し、チームの思いや願いアイデアをいかした簡潔な表現とする。
また、登録商標や映画やTV番組など著作物のキャラクター名などの使用は認めない。
全角10文字以内で、テキスト表示できるもの(半角・特殊文字・記号・絵文字は不可)
- (4) 動画作品部門以外に出場するロボットは、電源(乾電池、充電用電池)を使用し、決められたモータを使用する。なお、直流電源装置・AC-DCアダプタの使用は認めない。

15 競技内容およびチーム構成

- 基礎部門 「Ace in the hole」
 - ・令和3年度全国大会規定に準ずる。
 - ・1チーム1～4名まで(操縦者1名、アシスタント2名まで) ※3年間で1回のみ出場
- 計測・制御部門 「ドキドキ!ロボット収穫祭～「スマート農業」に挑戦!～」
 - ・令和3年度全国大会規定に準ずる。
 - ・1チーム1～2名(操縦者1名、アシスタント1名まで) ※3年間複数回参加可能
- 応用・発展部門 「ロボットレスキュー隊出動!～自立運搬ロボと協働で救助せよ!～」
 - ・令和3年度全国大会規定に準ずる。 ※3年間複数回参加可能
 - ・1チーム最大6名(メンバーの役割は自由)
- 動画作品部門 ※3年間複数回参加可能
 - ・動画作品は取り組んできたことを動画にまとめ、他部門の競技中会場にて上映する。
 - ・今年度は実演は行わない代わりに、ビデオの時間制限および人数制限は設けない。
 - ※九州・全国大会出品時には動画時間は最大2分となる。
- 九州オリジナル部門 「おくすりはいたつ」 ※3年間複数回参加可能
 - ・令和3年度九州運営委員会規程(福岡県技術・家庭科研究会Web掲載)に準ずる。
 - ・1チーム2～6名(競技参加は4名で、操縦者2名、アシスタント2名まで)

※ 県大会に出場するチームは、学校の代表として自覚し、校則に違反することがないようにする。

※ 生徒の服装は各学校の制服とし、中学生らしい身だしなみ、行動をとる。

※ 競技および会場使用のルールが守れないときには、失格等の厳しい対応をとる。

16 競技方法

- 通常実施が可能な場合(県内全域での部活動が可能な状況)
 - ・波佐見中学校体育館を会場に、新型コロナウイルス感染予防対策をとり競技を行う。
 - ・対戦形式は参加チームによって異なる。
- 通常実施ができない場合(一部地域で部活動の移動が制限された状況)
 - ・川棚中学校を本部に、各校より競技の様子を配信し審査を行う。
 - ・実施方法は、全国大会および九州大会(どちらもリモート大会)に準じて行う。

17 表彰

- (1) 各部門3位までのチームおよび技術的に優れたものを「アイデア賞」として表彰し、賞状を授与する。 ※リモートの場合は別に定める。
- (2) 全ての部門を通して、最もアイデアに優れたロボットを「ロボコン大賞」として表彰し、賞状とカップ(持ち回り)を授与する。
- (3) 各部門の審査は、大会顧問を始めとする実行委員と審査委員(外部に依頼)で行う。
- (4) 今大会での優秀作品については、県中文祭でのパネル展示等を行う。(過年度含む)

18 当日日程の概要

8:30 8:50 10:45 12:15 13:00 13:15 15:15 16:00

会場準備	基礎部門		計測・制御部門		昼食 休憩	九州オリジナル部門		応用・発展部門		後片付け
打合せ	受付検査 監督会議	競技	受付検査 監督会議	競技		受付検査 監督会議	競技	受付検査 監督会議	競技	
	動画作品受付		動画作品上映							

前日準備 [11月6日(土)]

9:00 ~ 運営準備[大会事務局] …… 運信用具・コート of 準備および運搬

13:00 ~ 会場準備[運営委員会] …… コート・撮影器具・パドック of 準備

打ち合わせ… 審判・司会・ルールの確認と打ち合わせ ~ 16:30 準備完了

19 参加チームについて

○ 代表チームの県大会に関わる対応および経費は、各学校で対応する。

20 申し込み/問い合わせ先 ※ 全てWebを通じて行う。

○ 大会参加料 全部門1チームにつき900円 (大会当日または前日までに学校単位で納入)

○ 参加申し込み 長崎県中学校ロボットコンテストWebより、申し込みファイルをダウンロードし、所定の形式で作成し、メール添付で申し込む。

<URL> <https://robo-nagasaki.com/index.html>

○ 申し込み期限 令和3年10月21日(木) ※市大会実施地区は別途通知する。

新型コロナウイルス感染予防の対応について

【1】無観客試合とする。

- ①競技会場に入場できるのは、競技部門に出場する選手および大会スタッフ、出場チームの保護者（1チームあたり1名まで）とし、一般の参観を制限する。

【2】開会式・閉会式を取りやめる

- ①表彰は準決勝・決勝戦の後、代表者に賞状を授与。
- ②アイデア賞・ロボコン大賞の結果はWebで知らせ、後日賞状等を郵送する。

【3】マスク着用・手指消毒の徹底

- ①会場にはマスクを着用していない者の入館を制限し、入館の際には手指の消毒をする。
- ②体育館入場時に検温を行い、37.5度以上および体調がすぐれない生徒は入場させず、引率を通して帰宅し療養するように伝える。
- ③生徒は保護者の参加同意書・健康チェック表を提出する。
- ④大会スタッフは健康チェック表を提出し、大会中体調がすぐれない場合には帰宅し療養する。
- ⑤審判は競技中は手袋を着用する。
- ⑥アイテムをセットする生徒にはビニル製手袋を配布し、手袋を使ってアイテムを扱う。

【4】運営上の工夫

- ①各部門の開始時間を下記のように決め、会場入りは各部門の規格検査開始時間に合わせる。
- ②基礎、計測・制御、応用・発展の複数エントリーを禁止し、生徒が会場にいる時間を少なくする。
- ③動画作品の実演を取りやめ、時間無制限の動画を作成し上映する。（ロボットの展示は可能）
- ④各競技の質問事項は事前に事務局に提出し、大会までに周知させ「監督会議」の時間を設けなくて良いようにする。
- ⑤「監督会議」は、「受付・規格検査」と並行して実施する。
- ⑥自分が参加する部門以外は、会場に入ることがないようにする。
- ⑦選手の接触を極力控えた動線になるよう会場レイアウトを考える。
- ⑧競技の様子を動画に収め、まとめたものを参加校に配布する。
- ⑨競技終了後、会場に留まることはせず、出場校の引率の判断で早めに帰宅させてかまわない。
- ⑩大会スタッフも、審判・誘導・受付など兼務し、できる限り少ない人数で運営する。

<大会スケジュール>

	チーム数	受付・規格検査 監督会議	競技時間	備考
基礎部門	27チーム	8:50～9:10	9:10～10:40	
計測・制御部門	13チーム	10:25～10:45	10:45～12:15	
九州オリジナル部門	1チーム	12:50～13:00	13:00～13:15	
応用・発展部門	14チーム	13:00～13:20	13:20～15:15	